

# ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 運用報告書（全体版）

第22期（決算日 2025年11月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型）」は、2025年11月20日に第22期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2014年11月28日から2029年5月21日までです。	
運用方針	主として、「アクティブBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	「アクティブBDCマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	アクティブBDCマザーファンド	BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。
組入制限	ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	アクティブBDCマザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<142662>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
18期(2023年11月20日)	12,631	0		8.6	95.8	109
19期(2024年 5 月20日)	13,975	0		10.6	96.0	114
20期(2024年11月20日)	13,993	0		0.1	97.0	103
21期(2025年 5 月20日)	14,010	0		0.1	96.2	85
22期(2025年11月20日)	12,494	0	△10.8		98.5	73

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年5月20日	円	円	%	%
	14,010	—	—	96.2
5月末	13,996	△	0.1	95.0
6月末	13,995	△	0.1	93.9
7月末	14,308		2.1	94.9
8月末	14,071		0.4	93.4
9月末	13,155	△	6.1	95.4
10月末	12,862	△	8.2	96.1
(期 末) 2025年11月20日	12,494	△10.8	△10.8	98.5

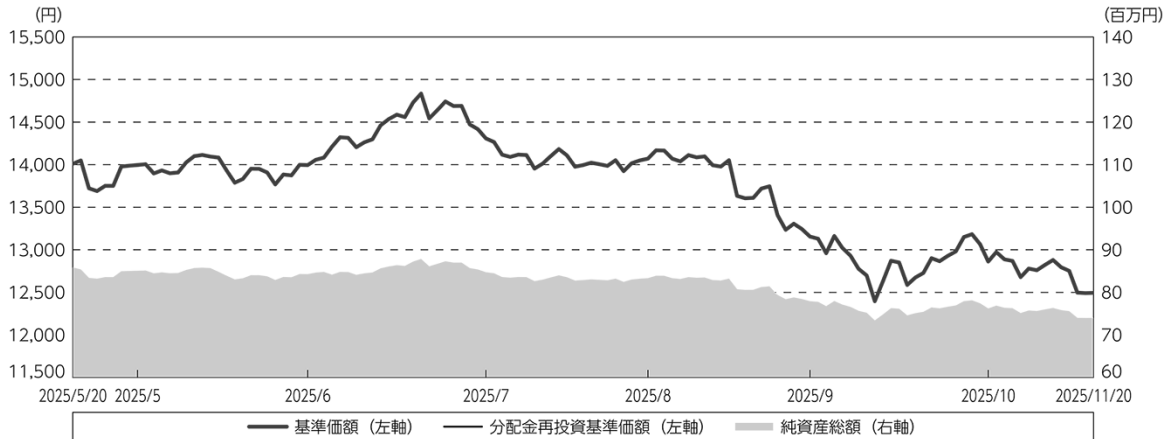
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2025年５月21日～2025年11月20日）

### 期中の基準価額等の推移



期 首：14,010円

期 末：12,494円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 10.8%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年５月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）に実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。

#### <値下がり要因>

- ・ＢＤＣ市場が下落したこと。

## 投資環境

### （ＢＤＣ市況）

期間中、ＢＤＣ市場は上下動を続けながら2025年7月下旬まで上昇し、その後徐々に下落しました。

期間中、米国経済は堅調を維持しましたが、関税・金利政策・経済成長など不透明なマクロ要因により株式市場のボラティリティ（変動性）は高止まりしました。米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）は政策金利を引き下げ、米国の2025年第２四半期国内総生産（ＧＤＰ）は予想を上回る個人消費に牽引され堅調であったものの、その後雇用市場は軟化しました。ＢＤＣ市場は、特に９月に下落しましたが、主な要因は金利低下予想、スプレッド（利回り格差）縮小、複数のレバレッジドローン破綻などＢＤＣ収益への逆風に関する複数の報道でした。

## 当ファンドのポートフォリオ

### （当ファンド）

当ファンドは、「アクティブＢＤＣマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

### （アクティブＢＤＣマザーファンド）

期間中、９月以降のボラティリティ上昇を受け、現金保有比率を引き上げました。

ポートフォリオをディフェンシブに構築し、ノン・アクルーアル（非稼働資産）比率が低い高品質のＢＤＣをオーバーウェイトとするとともに、収益改善のきっかけとなるディープバリュー銘柄へ機会を捉えて投資しました。

収益の逆風要因となっている低金利環境への感応度が低いＢＤＣへの配分比率を高めました。

市場売りが発生した際には現金を投入し、元本保全を最優先に継続しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第22期
	2025年5月21日～ 2025年11月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,759

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「アクティブBDCマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なう方針です。

（アクティブBDCマザーファンド）

米国経済の安定と健全な企業収益は、BDCの信用パフォーマンスにとって良好な環境を提供し続けており、最近の報道が示すよりも安定しています。レバレッジドローン分野での注目すべきデフォルト事例（Tricolor社、First Brands社）は個別要因によるものであり、市場全体へのシステミックリスクとはならないと考えています。

当ファンドでは、レバレッジドローン債務不履行のTricolor社やFirst Brands社の破綻に対する「ルックスルー」エクスポージャーは保有しておりません。金利低下は短期的にはBDCの収益減少につながる可能性があります。資金調達コストも同時に低下（上場BDCは平均1：1のレバレッジ）、歴史的に低金利環境では信用問題が減少しM&Aが増加する傾向といった相殺要因も存在していると思料しています。

本戦略は、上場クレジット市場に対する利回りプレミアムを伴う、サイクルを超えた全天候型利回り戦略と捉えています。この資産クラスは過去にセンチメント変動を経験しましたが、長期投資家は優良な上場BDCを選別することで報われてきました。不透明な時期においてもBDCのパフォーマンスは引き続き分化すると考えます。ポートフォリオでは保守的なポジションを維持しつつ、中期的にはBDCのパフォーマンスに前向きな見方を継続します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ １万口当たりの費用明細

（2025年５月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	141	1.026	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 80 ）	（0.582）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 57 ）	（0.416）	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 4 ）	（0.028）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ 0 ）	（0.002）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	35	0.253	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 28 ）	（0.202）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（0.002）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	（ 7 ）	（0.048）	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	176	1.281	
期中の平均基準価額は、13,731円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

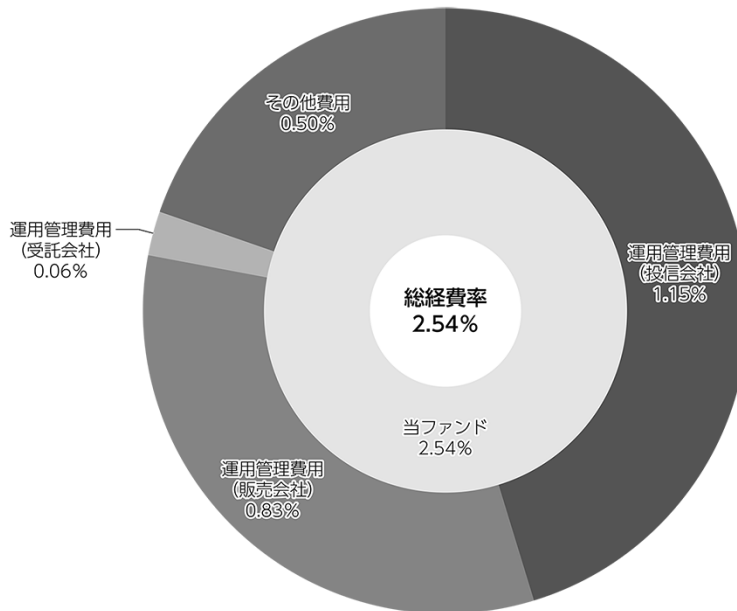
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.54%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2025年5月21日～2025年11月20日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクティブBDCマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 3,327	千円 10,212

## ○利害関係人との取引状況等

（2025年5月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年5月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2025年5月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

（2025年11月20日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクティブBDCマザーファンド	千口 28,315	千口 24,988	千円 75,405

（注）親投資信託の2025年11月20日現在の受益権総口数は、2,389,394千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクティブBDCマザーファンド	75,405	96.8
コール・ローン等、その他	2,471	3.2
投資信託財産総額	77,876	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) アクティブBDCマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,173,943千円）の投資信託財産総額（7,250,710千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=157.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	150,188,859
コール・ローン等	2,471,068
アクティブBDCマザーファンド(評価額)	75,405,285
未収入金	72,312,474
未収利息	32
(B) 負債	76,194,121
未払金	75,264,133
未払解約金	2,158
未払信託報酬	838,102
その他未払費用	89,728
(C) 純資産総額(A－B)	73,994,738
元本	59,226,264
次期繰越損益金	14,768,474
(D) 受益権総口数	59,226,264口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,494円

(注) 当ファンドの期首元本額は61,278,565円、期中追加設定元本額は214,432円、期中一部解約元本額は2,266,733円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,2494円です。

○損益の状況（2025年5月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,903
受取利息	4,903
(B) 有価証券売買損益	△ 7,935,546
売買益	1,756,025
売買損	△ 9,691,571
(C) 信託報酬等	△ 1,040,424
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 8,971,067
(E) 前期繰越損益金	21,862,256
(F) 追加信託差損益金	1,877,285
(配当等相当額)	( 7,734,448)
(売買損益相当額)	(△ 5,857,163)
(G) 計(D＋E＋F)	14,768,474
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	14,768,474
追加信託差損益金	1,877,285
(配当等相当額)	( 7,736,313)
(売買損益相当額)	(△ 5,859,028)
分配準備積立金	44,141,220
繰越損益金	△31,250,031

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年5月21日～2025年11月20日の期間に当ファンドが負担した費用は306,187円です。

(注) 分配金の計算過程（2025年5月21日～2025年11月20日）は以下の通りです。

項 目	2025年5月21日～ 2025年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,867,215円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,736,313円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	41,274,005円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	51,877,533円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,759円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

## ○お知らせ

### 約款変更について

2025年5月21日から2025年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
  - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
  - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」から「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」に変更いたしました。（第58条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# アクティブBDCマザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2025年5月20日）  
（2024年5月21日～2025年5月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年7月2日から原則無期限です。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	BDCを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

### ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCに投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

BDCの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。

BDCの組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、一部、BDCと類似する性質を有する株式および上場投資信託証券などに投資することがあります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】  
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
7 期 (2021年 5 月20日)	15, 375		62. 3	97. 1	9, 904
8 期 (2022年 5 月20日)	18, 350		19. 3	97. 3	8, 695
9 期 (2023年 5 月22日)	20, 622		12. 4	97. 1	7, 870
10期 (2024年 5 月20日)	30, 433		47. 6	96. 4	9, 413
11期 (2025年 5 月20日)	30, 276		△ 0. 5	96. 4	8, 108

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証券 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年 5 月20日	円		%	%
	30, 433		－	96. 4
5 月末	30, 804		1. 2	97. 3
6 月末	31, 692		4. 1	95. 7
7 月末	30, 334		△ 0. 3	95. 7
8 月末	27, 966		△ 8. 1	95. 2
9 月末	28, 112		△ 7. 6	94. 3
10月末	30, 616		0. 6	95. 7
11月末	30, 921		1. 6	96. 4
12月末	33, 067		8. 7	95. 5
2025年 1 月末	33, 614		10. 5	96. 4
2 月末	32, 424		6. 5	96. 1
3 月末	31, 623		3. 9	95. 9
4 月末	28, 397		△ 6. 7	96. 6
(期 末) 2025年 5 月20日	30, 276		△ 0. 5	96. 4

(注) 騰落率は期首比です。

# ○運用経過

(2024年5月21日～2025年5月20日)

## 基準価額の推移

期間の初め30,433円の基準価額は、期間末に30,276円となり、騰落率は△0.5%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・ＢＤＣ市場が下落したこと。
- ・円高／アメリカドル安が進行したこと。

(ＢＤＣ市況)

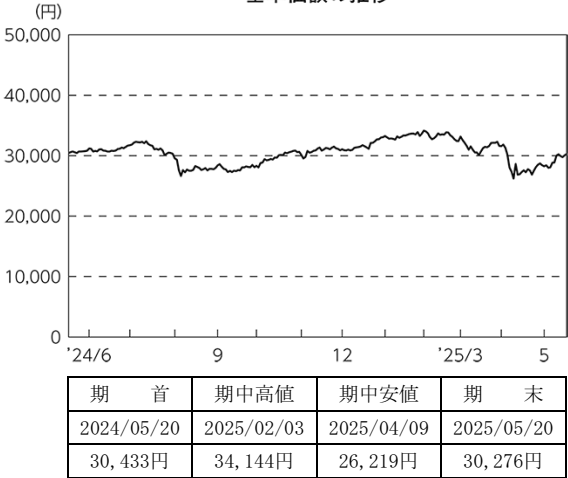
期間中、ＢＤＣ市場は上下動を続けながら2025年2月中旬まで上昇し、その後下落しました。ＢＤＣは期間中の大半で簿価に近い水準で取引されていましたが、2025年4月初旬に急落しました。この売りは主に関税に関連したマクロセンチメントの変化によるもので、4月後半から改善しました。ＢＤＣのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は期間中も堅調に推移し、過去最高を上回る金利と低水準のクレジット・デフォルトから収益は引き続き恩恵を受けました。

この期間中、ＢＤＣ市場は米国株式（S&P500指数）をアンダーパフォームしました。

(為替市況)

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

基準価額の推移



円／アメリカドルの推移



## ポートフォリオ

期間中、ＢＤＣポートフォリオをディフェンシブに位置づけ、質の高いＢＤＣマネジャーにバイアスをかけました。また、2025年に向けては、米国トランプ政権の新政策により市場が不安定になるであろうと予想していたため、比較的多くの現金を保有していました。市場の下落局面では現金を投入し、現在も元本保全を優先しています。

## ○今後の運用方針

貿易摩擦に起因する経済混乱の初期兆候が見られ、米国の経済成長は2025年第１四半期に鈍化し、関税とインフレ上昇の可能性でセンチメントは悪化しました。残念ながら、株価の乱高下はマクロ的な背景と高い相関性を保ち続けられると思われます。関税の対立が今後もエスカレートし、企業活動や消費者活動に重大な影響を与えない限りは、米国経済はほぼ安定的に推移すると予想しています。

ＢＤＣのファンダメンタルズは、2025年初頭から景気後退リスクが高まっているとはいえ、依然として健全であると考えます。米国経済が引き続き拡大する限り、たとえペースが遅くとも、米国のミドルマーケット企業は債務を返済し続けることができるはずであり、ＢＤＣの収益には良い兆しとなるとみています。ＢＤＣのクレジットパフォーマンスは今後もばらつきが続くと思われますが、これは、景気後退局面では信用引受プロセスの不備が損失拡大につながるためであると考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月21日～2025年 5 月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 2 (2)	% 0.006 (0.006)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	4 (4)	0.012 (0.012)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
合 計	6	0.018	
期中の平均基準価額は、30,797円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに  
小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年5月21日～2025年5月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	ARES CAPITAL CORP -BDC	3,000	68	38,222	802
	BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC	6,083	99	10,355	173
	BARINGS BDC INC-BDC	9,881	99	—	—
	BLACKROCK TCP CAPITAL CORP-BDC	18,424	199	21,013	153
	BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC	21,943	666	30,945	952
	BLUE OWL CAPITAL COR-BDC	92,510 (△ 92,510)	1,331 (△1,331)	—	—
	BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC	46,675	686	132,449	2,034
	BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC (N)	— ( 90,465)	— ( 1,331)	—	—
	CARLYLE SECURED LENDING INC-BDC	7,143	105	57,796	1,014
	FS KKR CAPITAL CORP-BDC	—	—	24,397	505
	GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	—	—	55,838	750
	GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	24,881	372	25,572	397
	HERCULES CAPITAL INC-BDC	5,411	99	9,943	200
	MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	407	20	10,664	597
	MIDCAP FINANCIAL INVESTMENT -BDC	7,905	100	6,402	99
	MORGAN STANLEY DIRECT-BDC	98,140	1,966	—	—
	NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	—	—	6,000	68
	OAKTREE SPECIALTY LENDING CO -BDC	—	—	21,191	311
	PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	—	—	4,221	49
	SLR INVESTMENT CORP -BDC	—	—	2,534	37
	STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC	—	—	3,726	49
小 計		342,403 (△ 2,045)	5,818 ( —)	461,268	8,199

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年5月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年5月20日現在)

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千アメリカドル	千円	%
BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC		131,816	127,544	2,008	291,921	3.6
BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC		162,027	153,025	4,881	709,379	8.7
FS KKR CAPITAL CORP-BDC		237,289	212,892	4,547	660,824	8.1
GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC		197,412	141,574	1,599	232,480	2.9
HERCULES CAPITAL INC-BDC		176,840	172,308	3,079	447,461	5.5
MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC		92,002	81,745	4,580	665,590	8.2
MORGAN STANLEY DIRECT-BDC		—	98,140	1,962	285,234	3.5
BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC		353,821	358,512	5,277	766,896	9.5
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC		29,807	26,081	354	51,583	0.6
SIXTH STREET SPECIALTY LENDI -BDC		150,491	150,491	3,429	498,402	6.1
BARINGS BDC INC-BDC		79,592	89,473	817	118,840	1.5
MIDCAP FINANCIAL INVESTMENT -BDC		84,966	86,469	1,112	161,720	2.0
ARES CAPITAL CORP -BDC		401,638	366,416	8,028	1,166,654	14.4
CAPITAL SOUTHWEST CORP -BDC		45,826	45,826	987	143,510	1.8
CRESCENT CAPITAL-BDC		30,805	30,805	480	69,879	0.9
FIDUS INVESTMENT CORP -BDC		32,275	32,275	654	95,117	1.2
OAKTREE SPECIALTY LENDING CO -BDC		86,648	65,457	945	137,451	1.7
GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC		301,582	300,891	4,531	658,505	8.1
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC		138,571	132,571	1,437	208,834	2.6
PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC		27,073	22,852	236	34,304	0.4
SLR INVESTMENT CORP -BDC		66,885	64,351	1,078	156,730	1.9
CARLYLE SECURED LENDING INC-BDC		128,367	77,714	1,118	162,512	2.0
BLACKROCK TCP CAPITAL CORP-BDC		82,564	79,975	621	90,302	1.1
合 計	口 数	3,038,297	2,917,387	53,771	7,814,138	
	銘 柄 数 < 比 率 >	22	23	—	< 96.4% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2025年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	7,814,138	95.8
コール・ローン等、その他	340,797	4.2
投資信託財産総額	8,154,935	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（8,073,766千円）の投資信託財産総額（8,154,935千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=145.32円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,154,935,003
コール・ローン等	329,896,973
投資証券(評価額)	7,814,138,772
未収配当金	10,898,182
未収利息	1,076
(B) 負債	46,429,047
未払解約金	46,429,047
(C) 純資産総額(A－B)	8,108,505,956
元本	2,678,158,372
次期繰越損益金	5,430,347,584
(D) 受益権総口数	2,678,158,372口
1万口当たり基準価額(C／D)	30,276円

(注) 当ファンドの期首元本額は3,093,081,520円、期中追加設定元本額は201,426,904円、期中一部解約元本額は616,350,052円です。

(注) 2025年5月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・ミューズニッチ米国BDCファンド（毎月分配型） 1,798,634,788円
- ・ミューズニッチ米国BDCファンド（年2回決算型） 449,164,676円
- ・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型） 402,043,344円
- ・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型） 28,315,564円

(注) 1口当たり純資産額は3.0276円です。

○損益の状況

(2024年5月21日～2025年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	833,118,944
受取配当金	818,900,633
受取利息	14,218,311
(B) 有価証券売買損益	△ 867,002,750
売買益	258,040,424
売買損	△1,125,043,174
(C) 保管費用等	△ 1,015,420
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 34,899,226
(E) 前期繰越損益金	6,320,163,315
(F) 追加信託差損益金	418,897,094
(G) 解約差損益金	△1,273,813,599
(H) 計(D＋E＋F＋G)	5,430,347,584
次期繰越損益金(H)	5,430,347,584

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2024年5月21日から2025年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。